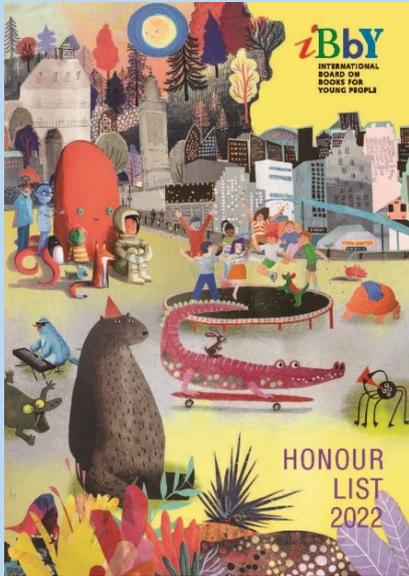


# 世界の子どもの本展

—国際アンデルセン賞とIBBYオナーリスト—

## 開催者募集



JBBYは、今年も「世界の子どもの本展」を巡回します!

この図書展は、IBBYオナーリストに選ばれた世界の優れた児童書と、国際アンデルセン賞受賞者の作品を展示するものです。その規模は、世界約50カ国から約180冊!

本を通して世界をめぐる旅を楽しみませんか?  
様々な国で暮らす子どもたちに想いを寄せる機会として、ぜひご活用いただけましたら幸いです。

### 対 象

図書館・学校他、展示会場を用意可能で、責任を持って開催できる方ならどなたでも（有志の個人・グループでも開催可能です）

### 巡回セット内容

展示本（約180冊）のほか、1冊ごとのキャプション、解説パネル、日本語版カタログ（閲覧用）など  
（※展示本は、2年ごとに内容が変わります）

### 貸出条件

\*貸出期間：1会場 2週間以内を原則とする。  
\*費用：展示物賃借料 80,000円（+消費税）  
送料実費 往復3万円程度（発送地域による）  
※その他、展示にかかる費用は開催者負担

### 詳細・お問合せ

JBBYウェブサイトをご覧ください。  
<https://jbbby.org/exhibition-of-children-of-the-world>  
開催レポートも掲載しています。

★ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ】 一般社団法人 日本国際児童図書評議会 (JBBY)

「世界の子どもの本展」実行委員会 (JBBY事務局内)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル

Tel:03-6273-7703 Fax:03-6273-7708 E-mail:honten@jbbby.org <https://jbbby.org/>



## IBBYオナーリスト (IBBY Honour List)

国際児童図書評議会 (IBBY) が1956年に創設した世界の優れた子どもの本を集めたリストで、当初は優良賞と呼ばれていました。1980年に「IBBYオナーリスト」と名称をあらため、以来、世界に向けて隔年で発信されています。現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の3部門からなり、IBBY支部が、世界の子どもたちに読んでほしいと願う、それぞれの国の特徴を持つ最も優れた作品を推薦しています。

2022年版は、53の国と地域から47言語163作品が推薦されました。日本からは、文学作品に花形みつるさんの『徳治郎とボク』（理論社）、イラストレーション作品に田島征三さんの『つかまえた』（偕成社）、翻訳作品に長野徹さんの『ケンタウロスのポロス』（原作:ピウミーニ/岩波書店)を選びました。

日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、世界の子どもの本が、世界への架け橋になると信じ、子どもたちや子どもの本に関心を持つ人たちに、直接手にとってご覧いただけるよう、IBBYオナーリストの全作品を国内で巡回しています。



## 国際アンデルセン賞 (Hans Christian Andersen Awards)

1953年に国際児童図書評議会 (IBBY) が創設した、2年に1度選ばれる子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「小さなノーベル賞 (A Little Nobel Prize)」とも呼ばれ、世界の児童文学に大きな影響を与えています。受賞者は、IBBY支部が推薦した候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。

2022年は、作家賞をフランスのマリー=オード・ミュライユさん、画家賞を韓国のスージー・リーさんが受賞しました。

## 開催会場の様子



奈良県立図書情報館



小淵沢 旧バウハウス



南栄住宅集会所

大阪府立中央図書館



光塩女子学院中等科・高等科



### 一般社団法人 日本国際児童図書評議会 (JBBY)

国際児童図書評議会 (IBBY) の日本支部として1974年に設立されて以来、「子ども・本・平和」をキーワードに活動を続けています。JBBYにはどなたでも入会できます。会費は国内外の子どもの本を結ぶ活動を支えています。詳しくはJBBY事務局までお訊ねください。

「JBBY事務局」〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル5F

Tel:03-6273-7703 Mail:info@jbby.org <https://jbby.org/>